

2020年度 連結決算の概要

2021年4月28日

三菱電機株式会社

<決算のポイント>

1. 20年度は、下期以降 業績が復調、第4四半期は対前年同期で増収・増益

- 第4四半期は、産業メカトロニクス（FAシステムの受注拡大）、家庭電器（家庭用空調機器の増加）を中心に回復傾向が継続・拡大。重電システムの利益増も貢献。[全社営業利益率：上期 3.2% → 下期 7.4%]
- 前回予想（2月2日公表）に対し、売上高は+914億円、営業利益は+401億円の増加。
（通期売上高:4兆1,914億円、営業利益:2,301億円、営業利益率：5.5%）

2. 21年度は、19年度（コロナ禍前）の業績水準への復帰を目指す

- 産業メカトロニクス、家庭電器、電子デバイスを中心に前年度比増収・増益。
（通期売上高:4兆4,700億円、営業利益:2,600億円、営業利益率：5.8%）

経営環境

- 中国では、景気対策の効果もあって公共投資を中心に固定資産投資が持ち直すなど、回復傾向が継続。
- 日本、米国、欧州などでは、第1四半期に新型コロナウイルス感染症の影響深刻化による大幅な景気減速がみられたのち、個人消費は感染拡大の状況等により回復ペースにばらつきはあるものの、企業部門は総じてみれば持ち直した。

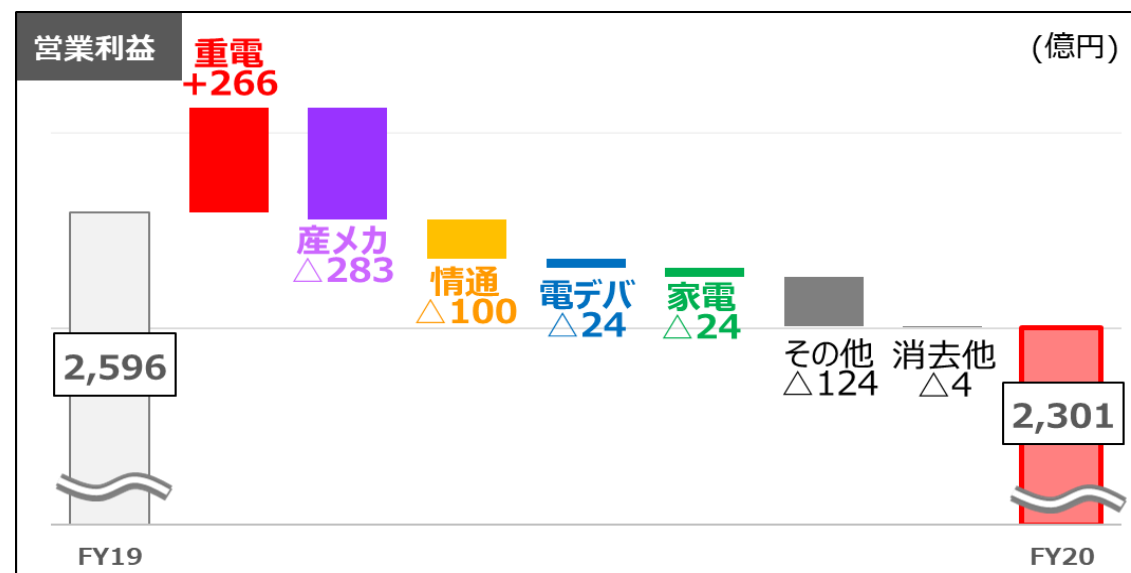
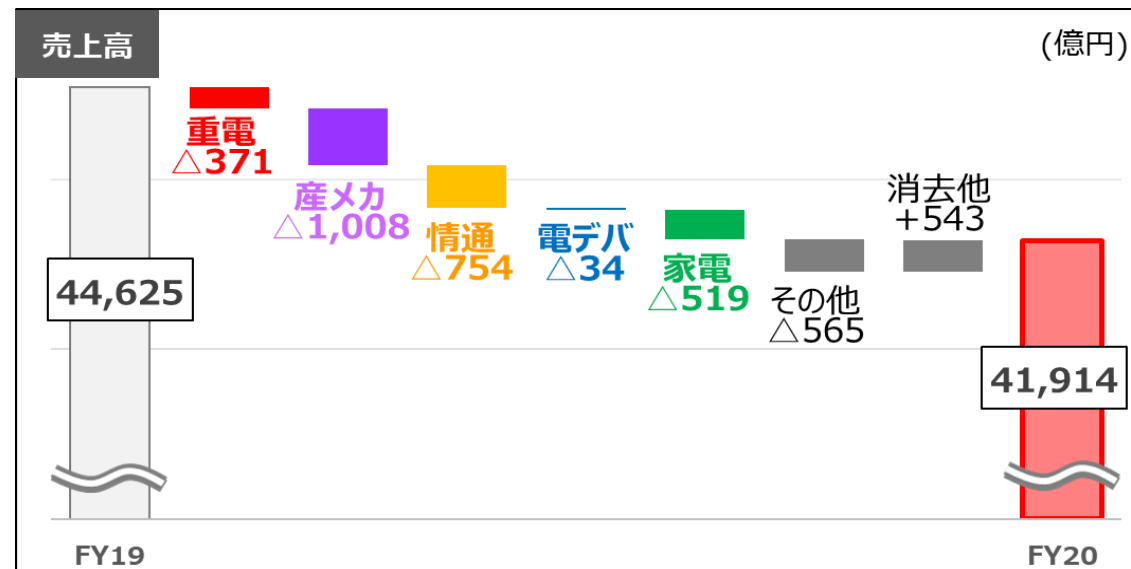
<為替変動>

		19年度	20年度
為替レート	米ドル	109円	106円
	ユーロ	121円	124円
	人民元	15.6円	15.7円

20年度 連結決算 概況

	19年度	20年度	前年度比	
			△	%
売上高	44,625	41,914	△ 2,710	94
営業利益 [営業利益率]	2,596 [5.8%]	2,301 [5.5%]	△ 294 [△0.3pt]	89 -
税引前 当期純利益	2,819	2,587	△232	92
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,218	1,931	△287	87
剰余金の配当 1株当たり 配当金	年間 40円 (中間 14円) (期末 26円)	年間 36円 (中間 10円) (期末 26円)	年間△4円	90

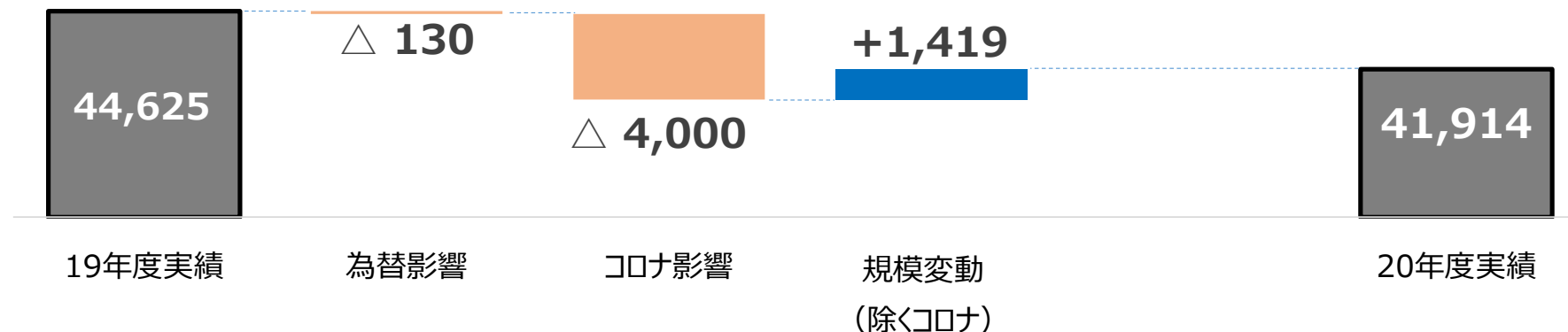
	19年度	20年度
為替変動の売上高への影響額	約620億円 減	約130億円 減



売上高・営業利益の変動内訳 (19年度 → 20年度)

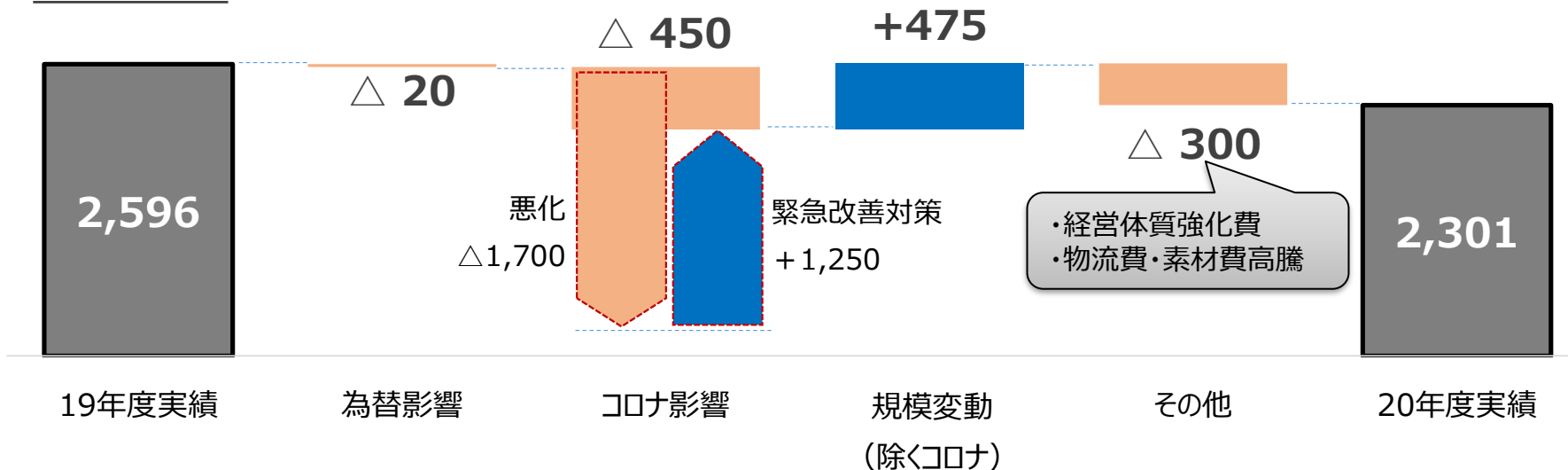
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



連結損益計算書

(億円)

	19年度		20年度		前年度比
		売上高比		売上高比	
売上高	44,625	100.0%	41,914	100.0%	△2,710
売上原価	32,001	71.7%	30,170	72.0%	△1,831
販売費及び一般管理費	10,170	22.8%	9,536	22.8%	△634
その他の損益 (△損失)	143	0.3%	94	0.3%	△49
営業利益	2,596	5.8%	2,301	5.5%	△294
金融収益・費用 (△費用)	32	0.1%	93	0.2%	+60
持分法による投資利益	190	0.4%	192	0.5%	+2
税引前当期純利益	2,819	6.3%	2,587	6.2%	△232
法人所得税費用	484	1.1%	570	1.4%	+85
当期純利益	2,335	5.2%	2,016	4.8%	△318
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,218	5.0%	1,931	4.6%	△287

連結財政状態計算書

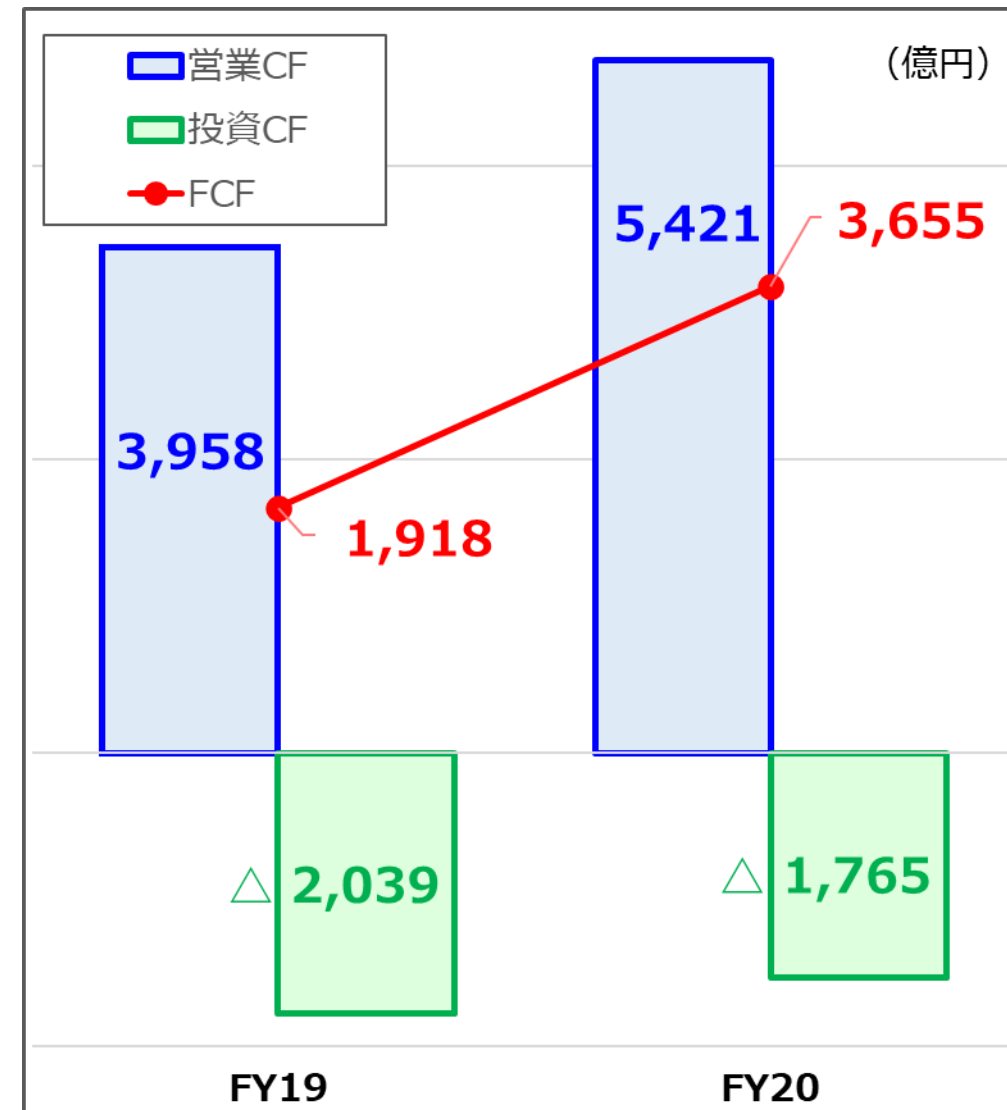
(億円)

	19年度末	20年度末	前年度末比
資産 計	44,097	47,979	+3,881
うち現金及び現金同等物	5,375	7,674	+2,298
うち売上債権・契約資産	12,440	11,810	△630
うち棚卸資産	6,938	7,437	+498
うち有形固定資産	8,543	8,576	+32
負債 計	18,709	19,273	+563
うち社債・借入金（リース負債除く）	2,670	2,488	△181
[借入金比率]	[6.1%]	[5.2%]	[△0.9pt]
資本 計	25,388	28,706	+3,317
うち親会社株主に帰属する持分	24,297	27,542	+3,245
[親会社株主帰属持分比率]	[55.1%]	[57.4%]	[+2.3pt]

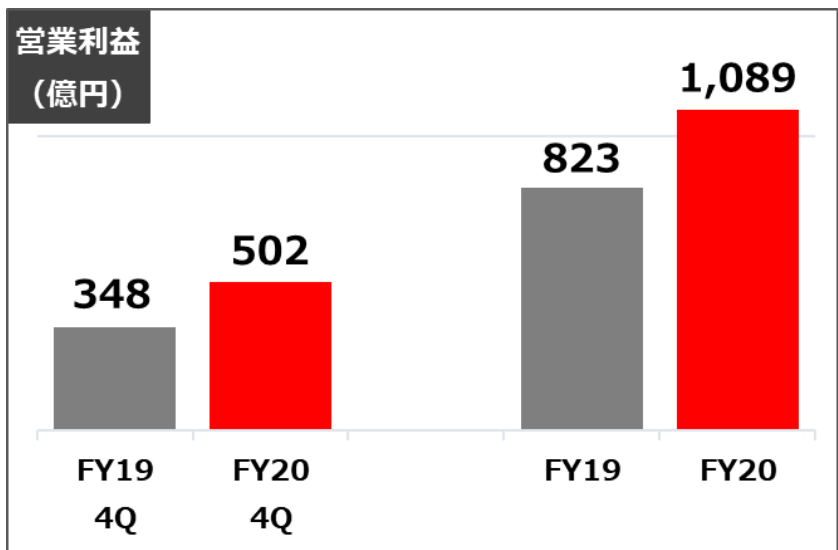
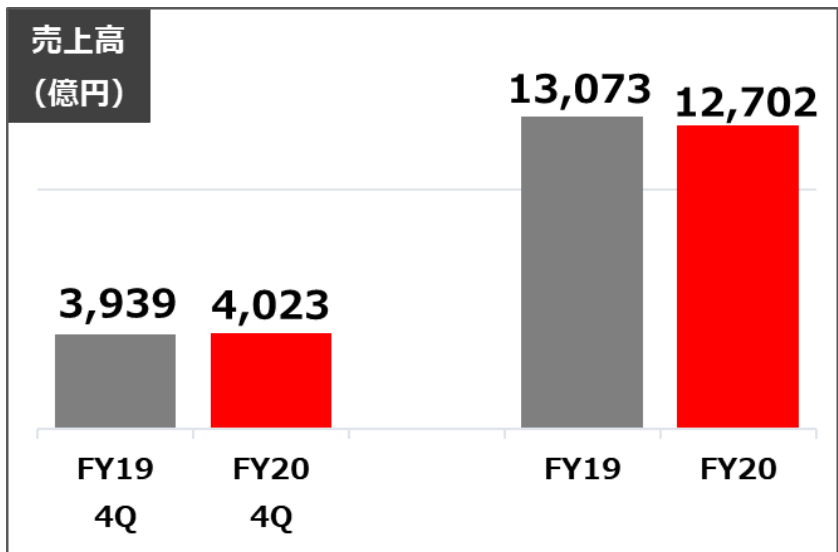
連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	19年度	20年度	前年度比
営業活動による キャッシュ・フロー	3,958	5,421	+1,462
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,039	△1,765	+274
フリー・キャッシュ・ フロー	1,918	3,655	+1,737
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,564	△1,573	△8
現金及び現金同等 物の期末残高	5,375	7,674	+2,298



事業の種類別セグメント情報 <重電システム>



20年度

売上高 12,702億円 (前年度比97%)

<社会インフラ事業>

事業環境は、国内の公共事業における防災・減災向けの投資や国内の電力システム改革に伴う需要などが堅調に推移も、国内外で発電関連の需要が減少し、新型コロナウイルス感染症の影響を受け国内の鉄道各社の設備投資計画に見直しの動きがみられた。

受注高は、国内の交通・電力事業などの減少により前年度を下回ったが、売上高は国内の電力事業の既受注案件の進捗や国内の公共事業の増加などにより前年度を上回った。

<ビルシステム事業>

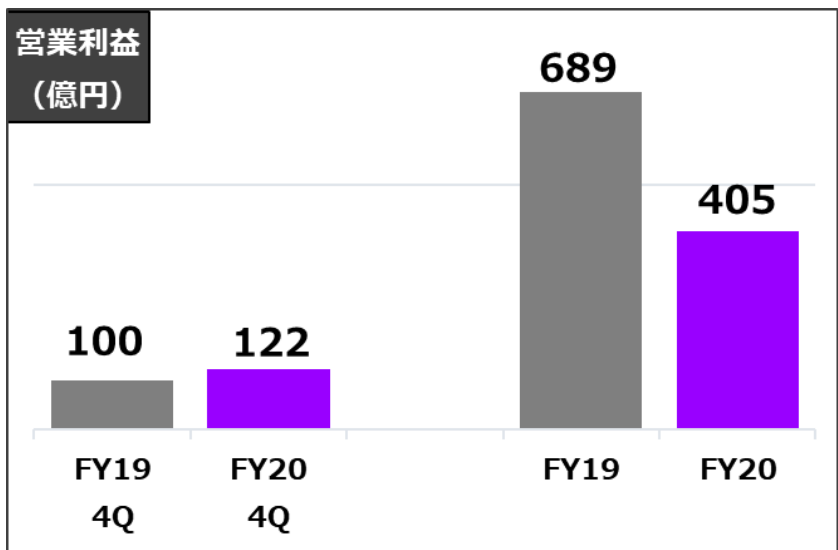
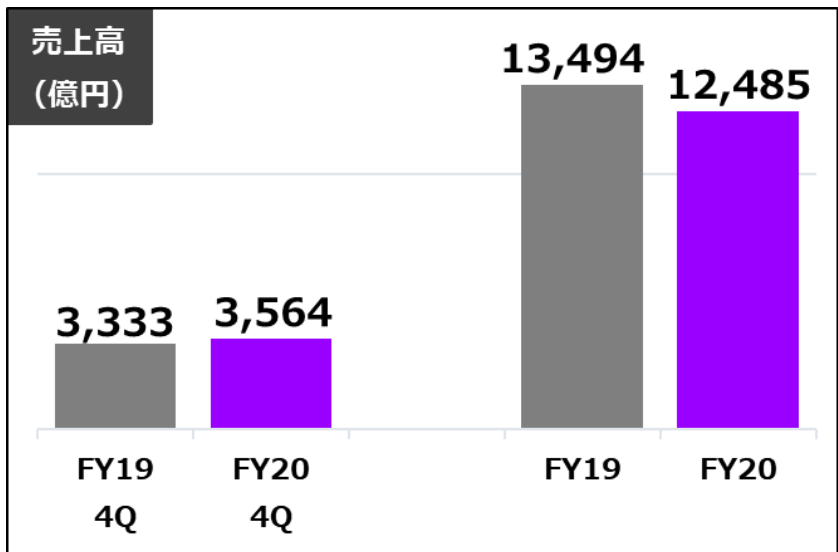
事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による市況低迷を受け、各国で建設計画の遅延や設備投資計画の見直しなどが発生し、国内外ともに新設・リニューアル事業を中心に需要が減少。

アジア・国内を中心に減少し、受注高・売上高ともに前年度を下回った。

営業利益 1,089億円 (前年度比+266億円)

売上案件の変動や費用改善などにより、前年度比増益。

事業の種類別セグメント情報 <産業メカトロニクス>



20年度

売上高 12,485億円 (前年度比93%)

<FAシステム事業>

事業環境は、国内外の自動車関連、国内の工作機械・建屋関連を中心に需要の停滞が続くも、海外を中心に5G関連や半導体関連の需要が拡大。加えて、中国でのマスク製造の増加に伴う需要などがあつた。

受注高は半導体・リチウムイオンバッテリー関連の需要の増加などにより前年度を上回り、売上高は前年度並みとなった。

<自動車機器事業>

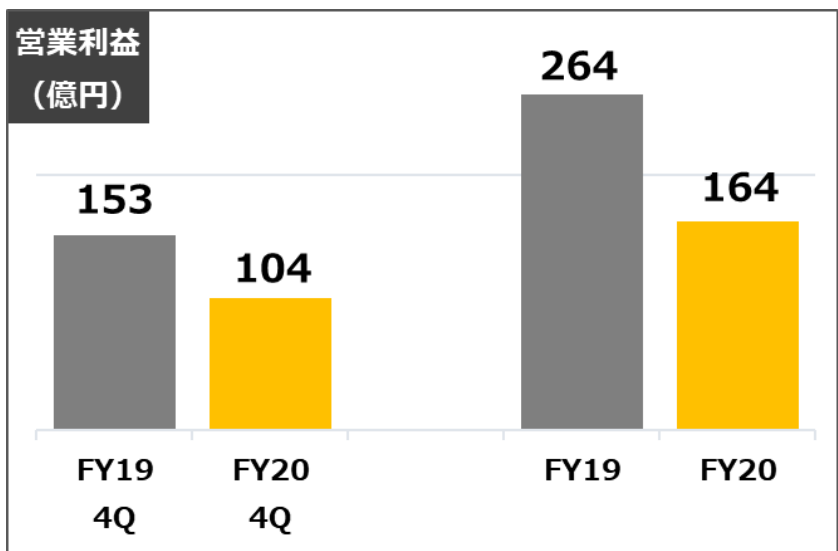
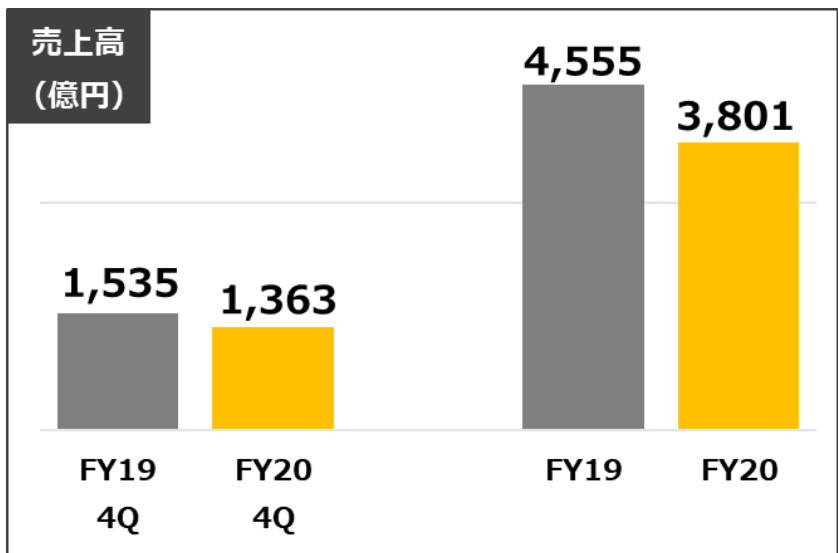
事業環境は、上期を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、新車販売台数が中国を除く全地域で減少。

モーター・インバーターなどの車両電動化関連製品の販売は増加も、その他の自動車用電装品の減少により、受注高・売上高とも前年度を下回った。

営業利益 405億円 (前年度比△283億円)

売上高の減少などにより、前年度比減益。

事業の種類別セグメント情報 <情報通信システム>



20年度

売上高 3,801億円 (前年度比83%)

<情報システム・サービス事業>

事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、製造業向けを中心にシステム開発案件の延期や中止などがあった。

システムインテグレーション事業などの減少により、受注高・売上高とも前年度を下回った。

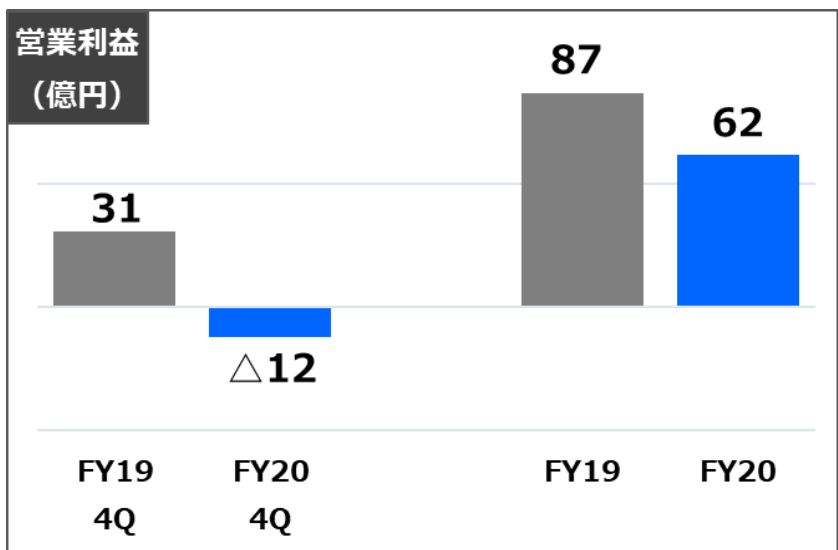
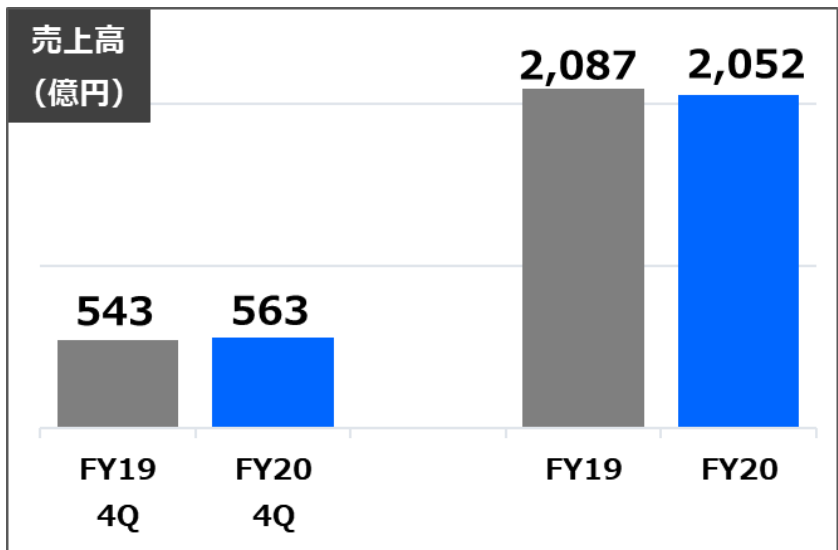
<電子システム事業>

防衛システム事業の大口案件の減少などにより、受注高・売上高とも前年度を下回った。

営業利益 164億円 (前年度比△100億円)

売上高の減少などにより、前年度比減益。

事業の種類別セグメント情報 <電子デバイス>



20年度

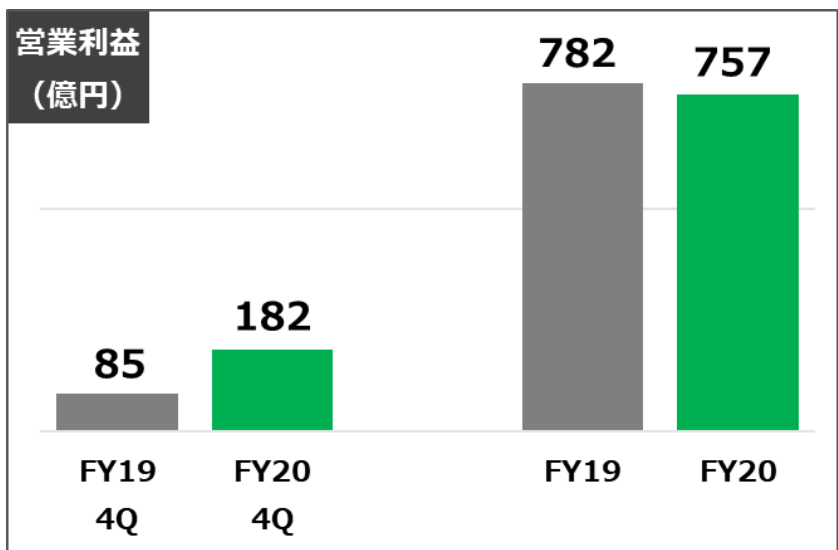
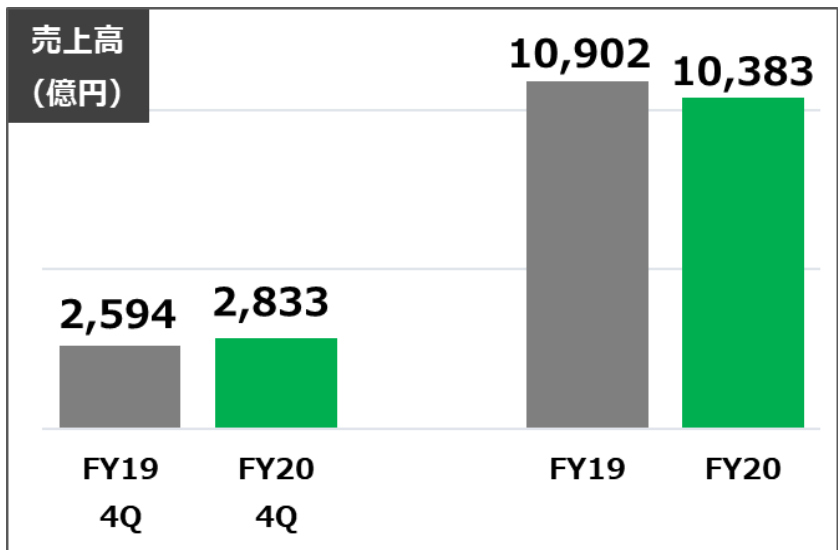
売上高 2,052億円 (前年度比98%)

事業環境は、高周波光デバイスにおいて、次世代データセンター関連などの堅調な需要が継続も、パワー半導体については、電鉄・産業向けの需要が減速。受注高は自動車向けのパワー半導体の増加などにより前年度を上回った。売上高は通信用光デバイスを中心とした高周波光デバイスは増加した一方で液晶や産業・電鉄向けのパワー半導体の減少などにより、前年度比減収。

営業利益 62億円 (前年度比△24億円)

売上高の減少などにより、前年度比減益。

事業の種類別セグメント情報 <家庭電器>



20年度

売上高 10,383億円 (前年度比95%)

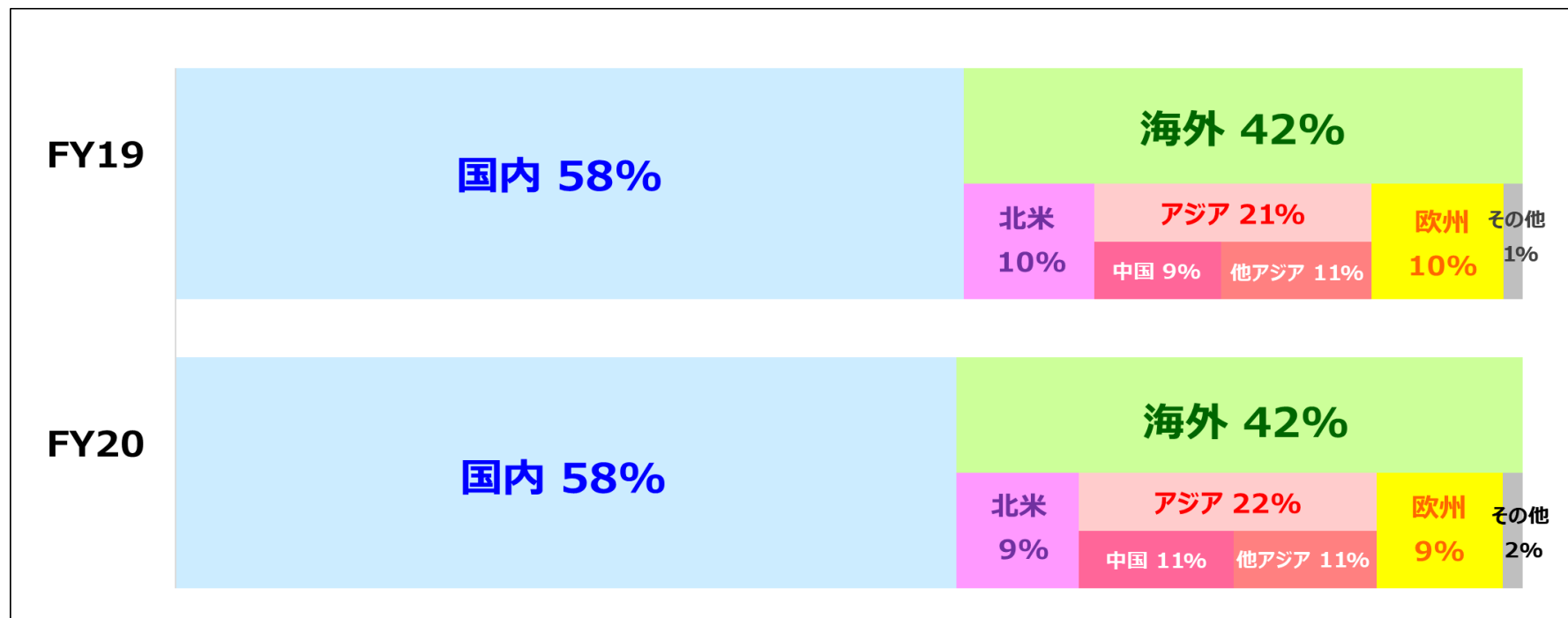
事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う在宅時間の増加などによる家庭向け需要があるも、上期を中心に海外での都市封鎖や経済活動の著しい制限、国内外での設備投資の抑制などにより、国内外の一部空調機器の需要減少などがあった。

一部空調機器の減少などにより、売上高は前年度比減収。

営業利益 757億円 (前年度比△24億円)

売上高の減少などにより、前年度比減益。

向先地域別売上高



(億円)

	合計	国内	海外	北米	アジア	中国	他アジア	欧州	その他
FY19	44,625	26,103	18,521	4,320	9,199	4,205	4,994	4,372	629
FY20	41,914	24,308	17,605	3,792	9,265	4,818	4,446	3,916	631
前年度比(%)	94%	93%	95%	88%	101%	115%	89%	90%	100%

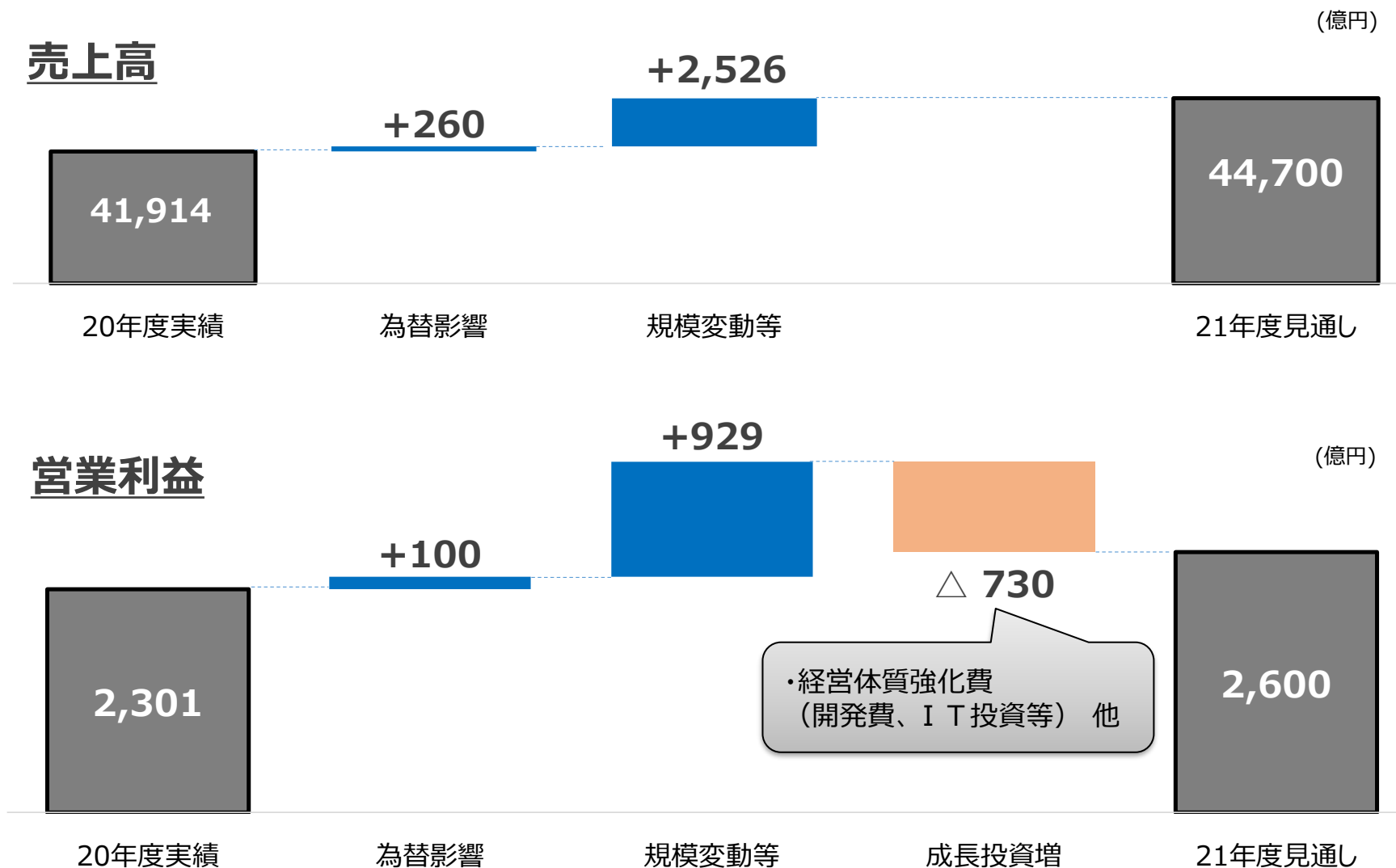
21年度 業績見通し

(億円)

	20年度 実績	21年度 見通し	前年度比 (%)
売上高	41,914	44,700	107%
営業利益	2,301	2,600	113%
[営業利益率]	[5.5%]	[5.8%]	-
税引前当期純利益	2,587	2,850	110%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,931	2,100	109%

		20年度 実績	21年度 見通し
為替レート	米ドル	106円	105円
	ユーロ	124円	125円
	人民元	15.7円	16.5円

売上高・営業利益の変動内訳（20年度 → 21年度見通し）



<補足情報：部門別売上高・営業損益>

(億円)

	20年度 実績			21年度 見通し			前年度比		
	売上高	営業利益	[営業利益率]	売上高	営業利益	[営業利益率]	売上高	営業利益	[営業利益率]
重電システム	12,702	1,089	[8.6%]	12,800	850	[6.6%]	+97	△239	[△2.0pt]
産業メカトロニクス	12,485	405	[3.3%]	14,100	860	[6.1%]	+1,614	+454	[+2.8pt]
情報通信	3,801	164	[4.3%]	3,900	160	[4.1%]	+98	△4	[△0.2pt]
電子デバイス	2,052	62	[3.1%]	2,400	100	[4.2%]	+347	+37	[+1.1pt]
家庭電器	10,383	757	[7.3%]	11,000	810	[7.4%]	+616	+52	[+0.1pt]
その他	6,030	136	[2.3%]	6,200	150	[2.4%]	+169	+13	[+0.1pt]
消去他	△ 5,542	△314	—	△ 5,700	△ 330	—	△157	△15	—
連結合計	41,914	2,301	[5.5%]	44,700	2,600	[5.8%]	+2,785	+298	[+0.3pt]

<参考：新型コロナウイルス感染症関連の影響>

△：悪化、+：改善

1. 新型コロナウイルス感染症による悪化

(億円)

	20年度				年間 実績
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	
売上高への影響	△1,800	△1,000	△700	△500	△4,000
営業利益への影響	△840	△410	△200	△250	△1,700

2. 緊急改善対策による改善

(億円)

	20年度				年間 実績
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	
営業利益への影響	+360	+290	+350	+250	+1,250

※営業利益への影響計 (1+2)

(億円)

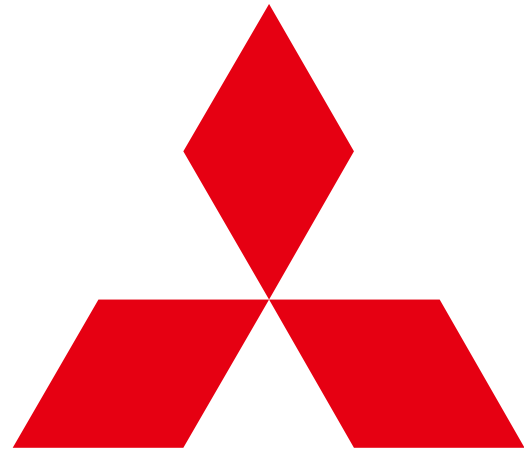
	20年度				年間 実績
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	
営業利益への影響計	△480	△120	+150	0	△450

Changes for the Better

本資料に記載されている三菱電機グループの業績見通しの将来に関する記述は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと大きく異なることがあり得ます。

なお、業績等に影響を及ぼす可能性がある要因のうち、主なものは以下のとおりですが、新たな要因が発生する可能性もあります。

- ① 世界の経済状況・社会情勢及び規制や税制等各種法規の動向
- ② 為替相場
- ③ 株式相場
- ④ 製品需給状況及び部材調達環境
- ⑤ 資金調達環境
- ⑥ 重要な特許の成立及び実施許諾並びに特許関連の係争等
- ⑦ 環境に関連する規制や問題
- ⑧ 製品やサービスの欠陥や瑕疵等
- ⑨ 訴訟その他の法的手続き
- ⑩ 急激な技術変化や、新技術を用いた製品の開発、製造及び市場投入時期
- ⑪ 事業構造改革
- ⑫ 情報セキュリティー
- ⑬ 地震・台風・津波・火災等の大規模災害
- ⑭ テロ・戦争、感染症の流行等による社会的・政治的混乱
- ⑮ 当社役員・大株主・関係会社等に関する重要事項



**MITSUBISHI
ELECTRIC**

Changes for the Better